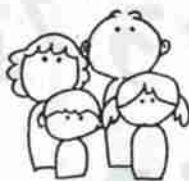


のほろべつ

市 の 人 口



	12月末現在
総人口	53,108 (106増)
男	26,459 (50増)
女	26,649 (56増)
世帯数	15,858 (28増)
()内は前月との比較増減	



甲子園めざし特訓 登別大谷高校野球部員

甲子園をめざす登別大谷高校の野球部員(13人)は、
厳寒の中で連日トレーニングに励んでいます。

野球部監督の高山隆教諭は、山口県・下関商の野球部
員として、昭和37年に甲子園出場しており、徳島校長と
共に、チーム強化には相当の力を入れています。

昨年8月からは、ソーダ社宅を合宿所として、1年生
7人と高山監督の家族が毎日、甲子園出場の悲願を果す
ため、猛練習を重ねています。

昭和52年
2. 1

予算
編成方針

どうなる……「ほりべつ」 新しい予算

市民のいのちと暮らしを築く三つの柱

いま市では、新年度の市政をささえるための、予算づくりが進められています。田村市長は年頭の「事務始め」に当って、市民のいのちと暮らしを守る①福祉、②環境、③教育の三本柱を中心にした、市民本意の生き生きとした予算を組み立てたいと……、新年度の予算を取りまとめる心がまえを語りました。

そして、「福祉基金」「総合市民センター」「河川、湖沼の養魚、ふ化場」「市民公園」などの構想実現に向けて一歩進めるため、新予算（案）の中に「そのいとぐちとなる措置」をしたたいと発表しました。

このページでは、市民の明日をみんなで築く新しい予算（案）の目玉、「三つの柱」にスポットを当ててみました。

五十一年度を大幅に上回るか……

……新予算の規模

新年度予算は、昭和五十一年度と比べて、大幅に上回る当初予算の編成が見込まれています。

これまでに、経常経費の見積りがまとまり、いま事業予算の取りまどめに入っています。市ではあらゆる財源をできるだけ市民本意の事業に振り向けるため、ここの二、三年の間は苦しくとも、節約を重ねて、物件費その他の消費的経費を切りつめて市民にこたえよう……と、田村市長は、一月六日の事務始めに当り、全職員に訓示をしました。

その1 福祉基金

老人、身障（児）者、母子、生活に不安をもつ恵まれない人びとの福祉対策は、国、道、市町村を問わず、いま社会の大切な課題になっていきます。

本市では、「老人憩の家の各地建設」「六十五歳以上の敬老年金の独自支給」「ホームヘルパーの増員」「老人クラブ、敬老会への助成」「老人農園」「健康手帳」恵寿園、保育所、のぞみ園、幼稚園等の経営」「災害遺児手当の独自支給」などの出費は、限られた市の財源の中でますます増えることが予想されます。

そこで、市民の負担（増税等）をさけて、その財源を生み出す手立てとして、毎年の予算の中から年次計画で、一定のお金を積み立て、その利子を生み出し、これを毎年の福祉対策充実の経費にふり当てることにすることです。

その2 環境づくりのために

何千人も一度に収容できる「総合市民センター」がほしい……と各所で市民の声があがっています。この市民の夢を実現に近づけるため、建設基金制度の創設を考えたいです。



老人・身障者など恵まれない人々の幸せのために、福祉基金制度の創設を一登別温泉町の路上へ



市内の河川・湖沼を有効的活用へ

お気軽にご利用を

福祉制度のご案内

＜母子家庭介護人制度＞

母子家庭の母の一時的な疾病のため、日常生活に支障のある家庭に、介護人を派遣して、母の介護と乳幼児の保育など、日常生活のお世話をする制度です。

▼対象世帯

○ 家族構成に乳幼児（六歳まで）が含まれていることを原則とされます。

ただし、義務教育終了後の児童や成人がいる家庭は除かれません。

○ 低所得世帯で、母子福祉年金や児童扶養手当の、受給要件の

所得制限限度額を下回っていること。

▼期間 一カ月あたり、おおむね五日間程度

▼費用 無料

▼申込み先 登別母子の会で扱いますが、希望される方は、保護課母子相談員へ申込みください。

＜在宅重度心身障害児（者）緊急保護制度＞

在宅の重度心身障害児（者）を介護されている保護者が、疾病などによって、家庭での介護が極めて困難となった場合に、緊急に一時施設に収容保護する制度です。

在宅の重度心身障害児（者）を介護されている保護者が、疾病などによって、家庭での介護が極めて困難となった場合に、緊急に一時施設に収容保護する制度です。

在宅の重度心身障害児（者）を介護されている保護者が、疾病などによって、家庭での介護が極めて困難となった場合に、緊急に一時施設に収容保護する制度です。

十数億円を必要とする大事業です。毎年市の子算の中から積み立てをするほか、少しでも実現を早めるために、市内外の篤志者からの浄財等を加えて、準備資金とする制度です。

道内のある市で、こんな話があることを聞きました。

その市の一小学生が拾ったお金を届けたところ、持ち主がわかり礼金をもらいましたが、これをそっくり、体育館を建てて——と市に寄付しました。

これが第一号となり市民の募金運動に拡大、遂に念願の建物が完成した……ということですが、市民の温い善意と支援が見事に実を結んだというお話です。

年次計画で教育施設を

学級増と木造校舎の改善整備にまた、市立幼稚園の各地建設をはかる市では、昨年度から抜本的に大型設備投資を実施していますが

ところで、最近、沿岸二百餘漁業海域問題が国際ニュースとなつていますが、漁獲減収から蛋白質の確保が心配され、魚の好きな日本人、市民の台所にもひびいては大変なことと心配されています。道内の河川、湖沼などに、養魚、ふ化場の事業ができませんのかと、その調査等をしてみたいと思つています。

今年度も引続いて大きな資金をかける計画です。この三カ年の投資によって、市の教育施設はほとんど新しくなり市民待望の教育の機会均等の目的が達成されることになり、教育施設が近代的に整うことによつて、のぞまれる環境の中から進められる教育の興味もまた、秀れたものでなければなりません。すなわち、子供達が幸せになれる教育、先生が生き生きと教べんとれる教育、父兄が一体となつて心の通う教育を推進することが大切で、

新しい一年を築く予算、市民のいのちと暮らしを守る生き生きとした市民本意の予算が、不況のきびしさにたえて明日の登別への希望をつなぐ三本柱を中心に編成が進んでいます。

市長動静

- 一月六日（二十八日）六日10時、事務初め式を中央公民館で行い、職員に訓示
- 七日10時、中央公民館で行われた消防出初式に出席。11時30分、全日自勞新年会、17時新日鉄労働組合新年交礼会に出席。
- 十二日10時、老人クラブ南山会、13時老人クラブ柑陽会新年会、16時登別温泉旅館組合新年会、18時登別青年会議所新年会に出席。
- 十四日15時、成人病予防組合協議会臨時会が室蘭市で開かれ、これに出席。
- 十五日11時、成人式が総合体育館で行われ、出席。18時室蘭医師会新年会に出席。
- 十六日11時、商工会館で高田道議監査委員受賀祝賀会が行われ、お祝いの言葉を述べた。14時ときわ町内会百寿の家落成式に出席。
- 十七日13時、第一回臨時市議会、年頭のあいさつを行う。
- 十八日札幌出張
- 二十一日11時老人クラブ連合会新年会出席、二十四日から上京。

＜自動車運転技術 取得費の補助＞

重度の下肢障害者・聴覚障害者の自立更生を促進するため、自動車運転免許を取得するために必要な経費について、補助金が交付されます。

▼補助対象・補助額

○ 身体障害者手帳の交付を受けている方で、障害程度が一級または、二級の下肢障害者および二級の聴覚障害者ならびに、これに準ずるものと知事が認めた障害者

○ 免許の取得で自立更生の促進が図られる方

▼補助金 三万円以内

▼手続の方法 昭和五十二年度中に運転免許を取得し、補助金の交付を希望される方は、三月十九日までに、保護課庶務係へ申込みください。

＜自動車改造費の助成＞

重度の身体障害者が就労などに伴い自動車を購入する場合、その自動車の改造に要する経費について助成金が交付されます。

▼助成対象・助成額

○ 身体障害者手帳の交付を受けていて、低所得者に属する重度の下肢または、体幹機能障害者などで、就労などに伴い本人が所有し、運転する自動車の操作措置、駆動装置などの一部を改造する必要がある方

▼助成金 十万円以内

▼手続の方法 昭和五十二年度中に自動車を購入し、助成金の交付を希望される方は、三月十九日までに、保護課庶務係へ申込みください。

※くわしくは、保護課庶務係（電話5局2111内線343）へ問合せください。

※補装具の給付は、保護課庶務係へご相談ください。

☆☆☆☆



整備のゆき届いた西陵中学校の授業風景

ひとくちに教育環境整備といっても、幼稚園の整備から大学の誘致など、その範囲は広く、内容は深く多岐にわたっています。なかでも、幼稚園の建設や小学校の整備、高校新設など父母から特に高い関心度が示されているものについて、市では昨年度から重点施策に取りあげ、思いきった事業を推進し、それぞれ実績をあげています。

まず、幼稚園の新設では、各地区に一カ所ずつ建設しようとして、昭和五十年に富士幼稚園を市立として初めて新設し、本年度は若草幼稚園を建設中です。明年度は登別温泉地区に着手することになっていきます。幼児教育のための環境整備は、幼稚園の新設から初まったわけですが、幼児の増加の状況をみながら、将来は一枚一園構想、すなわ

ち小学校の通学区域毎に幼稚園を一カ所ずつ建設していこうとする考え方を推進していかなければなりません。義務教育課程の小・中学校における環境整備は、まず生徒数の増加に伴う増設や新設校の整備、老朽化による校舎の改築、屋内体操場の整備、そして教育内容の充実をはかるための教具教材の入れ替えや特別教室の完備、さらに児童生徒の健康増進と安全確保のために、いろいろな設備を整える必要があります。

このような考え方から、それぞれ小・中学校の教育環境をより優れたものにしてしようと、関係者の意見を集約し、創意工夫のうえ、限られた財源を効率的に使って、これまでに、西陵中学校、青葉小学校の新設とこれに伴う周辺の整備や教具教材の配備、富岸小学校登別小学校の屋内体操場の新設と増改築、さらに各校の増築や改築と教具教材の入れ替えなど、積極的な整備事業を重点的に行なってきました。

この結果、過去には見られなかったいきおいで、教育の環境整備



初の市立幼稚園も各地区に建設写真は富士幼稚園のもよう

が図られ、今後一、二年で一応の成果を取めることとなります。次に、高校教育ですが、市内の生徒数の増加に伴って、激しい受験競争が続いており、父母からは高校の開口増に対する強い要望が出されております。これについても、市では、数年前から関係機関に強い働きかけを行い、道立高校の誘致運動を展開してまいりましたが、市民のみならず、関係者の強い援助があるため、登別市内に道立高校の新設が決定されたものです。また、教室の数や生徒数など、くわしいことは決まっています。昭和五十四年開校で、現在の総合体育館の前にその敷地が確保されました。高校新設による環境整備は、道ですすめまが、周辺は広大な自然に恵まれているため、絶好の文教地区に生まれ変わっていくものと

より教育環境をめざして

住みよい豊かな登別市をつくるためには、心身ともに健康で創造力豊かな市民を育てることが、何よりも大切です。教育は、このような人づくりの基本であり、人間の生涯を通じて行なわれることが必要です。

なかでも、幼児教育、学校教育については、本年度の重点施策として、その教育環境整備に取り組み、市民のみならずのご理解とご協力によりまして、積極的にすすめています。今回は教育環境整備について、考えてみたいと思います。

期待されています。幼稚園から高校の新設まで、整備が終ると、次は大学誘致への検討に入っていくこととなりますが、これをとつてみても、巨額の経費を必要とし、多くの人々の協力と理解、そして優れた教育をすすめるためには、ふさわしい人材が必要であることを考えなければなりません。

健康メモ

やけど

やけどには、皮膚が赤くなってヒリヒリと痛むだけで傷跡を残さないで、三、四日で治ってしまう軽いやけど①水疱をつくり、治るのに二週間かかり、傷跡はやや深いものや化膿した時に残るもの②皮膚の下までやられる。程度がひどいわりには、痛みはそれ程でないが、治るのに二、四週間かかり傷跡が残るもの③の三つに分けられます。

応急手当としては水道の水で二、三十分冷やす。冷やしなから衣服をそとと脱がす。無理な時は、ハサミで切り開く。

やけどの部分を書いたガーゼ、ハンカチ、手拭い等で包む。水疱(水ぶくれ)は、破らないように注意し、かっつて軟膏、味噌などをつけると、化膿の原因になりますので、消毒してガーゼを当てておくのが無難でしょう。小さくても顔とか、手足の関節の部分の時は、外科病院へ行きましょう。広くやけどをした場合は、救急車を呼んで病院へ運びます。



青葉小学校は4月開校予定で新設中。

教育環境整備に思う

あすの登別を担う、児童・生徒の教育環境をより良いものによようと、その整備事業を積極的に実施していますが、今回は登別小学校を訪れ、いろいろと意見を聞いてみました



小林範康くん（登別小六年、児童会会長）

体育館が新しくなって、広くのびのびと遊べるし、全校集会ができ、学芸会が新しい体育館ができて大変うれしかった。

また、バスケットリンクは上下できるようにしてほしいということ、観覧席があったら良いと思いました。

僕たち六年生で、新しい教室を使えないうちに卒業してしまうからです。

谷部貞三さん（楠木造園業、PTA会長）



安全性に疑問が持たれている学校給食用ポリプロ食器ですが、登別市では、児童・生徒の健康を守る立場から、疑わしいものは使用しないとの原則を踏まえ、さっそくポリプロ食器をアルマイト食器に取り替えました。



で、しかも登別市は若い都市で、いろいろな方面にお金がかかり、財政運営がたいへんだと思います。そんな状況下で、体育館建設、管理棟の改築など実施していただき、感謝しています。

今おこなっている管理棟の改築が終了しますと、建物の工事は全部出来る範囲の努力奉仕などによって、周辺の環境整備に協力していきたい。幸い登別小は、他に見ることでできない環境のモデル的な要件をもっていますから、時間をかけてでも、子供たちのためにこの環境を生かしていきたい。



白川 勇さん（登別小学校校長）
登別小学校の長年の願いであった屋体が完成し先生方の管理棟も市長の英断によって、誠意をもって実施していただき、感謝しています。

校舎の改築にあたっては、教頭に設計の仕事を担当してもらいましたが、教職員の意見をあつめ、PTAの方々とも話し合いを重ねて結論を出し、市の方と協議し建設にかかったわけですね。



久子さん（登別小教諭、二年生担任）
教育環境整備について理想をいうといろいろありますが、例えばこの間も、職員会議で出たのですが、今の教育予算は、校舎なら校舎を作るだけなんです。あとの環境整備を行うときは、PTAにいろいろな形で協力をあてにしなければならいんです。

教材などでも、予算が大変少ないため、子供たちに効果のある教育はむずかしいと思います。いまの校舎改築では給食室が十分に整備されないようです。ただ、新しい管理棟の中に、先生方の男女別の便所ができるので喜んでます。やはり、十分な予算があれば、いろいろな問題は解決していけると思います。

椎茸栽培講習会



家庭での椎茸栽培熱が年を追うごとに増えています。しかし、栽培についての知識不足から十分な収穫を上げることができないなどの話を聞きます。

そこで、市では正しい栽培の知識と管理方法を知っていただくため、次により椎茸講習会を開催いたします。

- 日時 二月八日 午後一時三十分から
- 場所 労働福祉センター
- 受講料 無料
- 用意する物 筆記用具
- ※その他詳しい事は、市役所農水産課へお尋ねください。
- （電話）局2-1-1内線269

郷土史探訪 ⑪

開拓と動物たち

登別に生息している動物の種類は、地域の隣接性や移動性もあり明確には言えないのですが、火山活動で生成した、鷲別岳、末馬岳、オロフレなど多くの山や、橋湖、タツタラ湖、そしてカルルス、登別温泉など、自然の複雑さに相応して、その種類も多かったと言われています。

哺乳動物では、ヒグマ、エゾシカ、キタキツネ、エゾイタチなど十五種にもおよび、江戸時代(安政四年)に箱館奉行に随行して、当地ホロボツにも来た、玉虫の著書「入北記」には、カワウソ、テン、ムジナ、キツネなどの毛皮が、鹿や熊の毛皮と同様に、幌別場所から生産されて、場所請負人の岡田半兵衛もこれら動物の捕獲に力をいれたことが書かれています。

鳥類は、カラス科、ヒバリ科、シジュウカラ科、ワシタカ科その他百五十種をこえると言われ、はやぶさは、中型のタカで当地方にも生息していました。

は虫類は、登別・カルルス・川又温泉などで数が多く、トカゲやカナヘビ(カナチヨロと呼ばれている)川又温泉の有名な青ダイシウやワラの色に茶のしま模様を持つシマヘビは、温泉の湯に入っていると、湯そうに入ってきたりぬいだ衣類の上でとぐろをまいていて、昭和初期の湯治客を驚かせたものです。

シマヘビの黒色がかつたものはカラスヘビと呼ばれ、同種類のものでした。

また、ジムグリ(頭部にV字型模様)と海ヘビのママシも生息していました。

とにかく数は多く、先に紹介した、玉虫(玉虫左太夫)が登別温泉に来た時「家来が、地獄谷の熱湯に、近くにいたヘビを投げ入れて試したところ、たちまち死んでしまった。」と言っています。

開拓者にとって、動物は食料にもなり、馬や犬は生活上もつとも必要なものでしたが、人里にあらわれ、家畜を害し、畠を荒し、ついに人を襲うひぐま、オオカミはもちろん、カラス、ネズミや野性の馬などに対する防備対策は重要な課題でした。

ひぐまは、現在でも登別地方の山奥にみられますが、これらによる被害の具体的資料は少ないのですが、明治十六年には登別牧場でひぐまや野犬により、馬二十一頭が倒されたり、その後ひぐまによる馬の被害は、明治十九年に十四頭、明治二十年は十五頭を数え、オオカミによる被害は、明治十九年四頭、明治二十年には六頭の被害をうけています。

これよりさきの明治初期から野獣対策は急をうけ、明治三年幌別開拓役所では、賞を出して、アイヌの人達にも獲らせ、熊八頭、鹿六百三十余頭、キツネ二十余、ウサギ五十余の成果をあげ、皮や角を買いあげて相当な利益をあげたといわれています。

明治四年には、熊六頭、鹿三百八十余頭を獲ったといいますが、当時の登別地方には相当な数がいちたものと思えます。

オオカミの被害については、前述のとおりですが、明治二十一年幌別戸長役場からの報告では「オオカミは出没常なし」とあり、当時はあまりいなかったようです。オオカミは、夏は二匹または、一対でくらしりますが、冬は集団で

行動し、あらゆる動物を襲撃して食べる、凶悪なものの代表とされていますが、このオオカミも昔のホロボツや日高地方でも「ヌブリバコルカムイ山のかみてを支配する神」といって、鹿をとってくれる神様と尊敬され毒の矢を絶対にむけなかったといわれています。

また、アイヌ語で「キムイセタ山にいる犬」という言葉があり、普通「ヤマイヌ」と呼ばれる野犬がいて、馬のような大きな家畜を襲い殺すので当時の人々も恐れていたという。

ホロボツには、古くから会所や通行屋と呼ばれる旅宿所があったので、寛政九年(一七九八年)に

道産一家



は南部馬が配置され、立馬の飼育も行われ、人足には一日米五合から一升(約〇・八kgから一・五kg)が与えられ、また、ホロボツとムロラン間の人足賃は、錢二十文でした。

しかし、馬の多くは春から秋頃まで外垣をめぐらせた屋根のないところに入れて飼育されるが、冬の間はすべて野放しであったので自然繁殖数は増加し、明治初年の幌別来馬には、約四百頭以上の野馬がいて耕作した畑地を荒しまわったので、野馬狩りをして約三百頭を、鷲別村字ベシボツケ(現在の室蘭イタンキ)にうつしたといわれています。

温泉街への道はカーブが多く、アイスバーンになっているので運転しづらいので、できるだけゆっくり走っています。

温泉街はカーブや坂が多いので除雪はすみやかに実施していただきたいと思っています。

いつもヒヤヒヤさせられるのですが、自転車は歩道を走っても良いのですから、是非歩道を走っていただきたいと思っています。

子供の飛出しには気をつけていますが、道路で「ニスギ、ソリ遊びは、他人の子でも我が子と同じような気持で注意してあげてください。

大人は、子供のお手本となるようにしなければいけないと思いますし、子供はみんなで見守ってあげなくてははいけないのではないのでしょうか。

みんなの交通安全

④



新堀 重安さん
42歳 会社員 登別市東町2丁目5番地1

車を運転して二十二年になりますが、今まで無事故です。

安全運転の心掛けは、いつも初心に帰ってハンドルを握り、冷静さを失なわないようにすることだと思います。

交通事故は、ちょっとした不注意、おれはうまいんだという自信過剰が結びついて起きてい



水井 和子さん
28歳 家事手伝い 登別温泉町29番地

るようです。追い越しの場合に対向車との目測を誤らまて衝突するなど、「だいじょうぶだ」という安易な気持が、人命を奪うことになってしまっているのではないのでしょうか。

最近では、ドライバークのマナーというものがなくなってきたりするように思います。広い道では良いのですが、狭い坂道での行違ひでは上から下がってくる車は、下からの車を優先的に走らせてあげるといふルールがなくなってきたりした雪道では特に、下からの車は一度止まると走りにくいものです、ゆずり合いの心がほしいですね。

家庭児童・母子相談

- 相談日 二月十七日(木)
 - 会場 中央公民館 和室
 - 受付 午後一時から 三時三十分
 - 相談内容 子供のしつけ、知能のおくれ、非行相談、視聴器障害、心身障害、児童施設入所、その他相談等
- ※相談希望者は、事前に市福祉事務所保護課にご連絡ください。(電話5局2111内線334)



スケートで一汗

冬休み期間中大にぎわいを見せていたのが陸上自衛隊幌別駐とん部隊内のスケートリンクです。
一般市民に開放して今年で9年目を迎えました。整備の良さもあって、いつもベストコンディションで滑べること

自衛隊幌別駐とん部隊

ができるリンクでは、今日も子供達の歓声が上がっていました。
同隊では、3月中旬までスケートリンクを続けており、大人も気軽に利用してください、と呼びかけています。

マチの話題

常夏の楽園 “市民プール”

夏冬をとおして水泳を楽しむことができるようにと、一昨年千歳町3丁目に建設した市民プールで、冬を迎えても寒さ知らずの、室温35度という常夏のムードに、日本では、沖縄、小笠原だけで生産されるというバナナの木に、花が咲いています。

冬場はどうしても、家の中にとじこもりがちな私たちですが、市民プールでの健全な体力づくりはいかがでしょう。



アレアレ

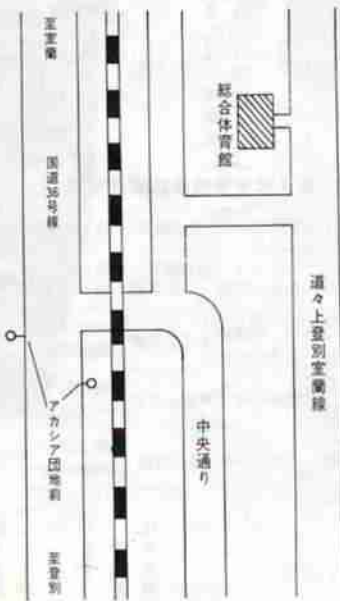
ヤツデに白い花が



阿部喜代志さん宅（柏木町三丁目五二番地）では、昨年十二月にヤツデの木に白っぽい葉が伸びはじめ、あちこちに白いボンボリのような花が咲きました。
ヤツデ（八ツ手）は、庭木として一般的に栽植されていますが、関東地方以南の太平洋側から沖縄に分布しており、「厳冬の北海道で花を持つとは……」と近所の話題を集めていました。

ご利用ください

総合体育館



昨年、総合体育館横に舗装道路（若山二号線）が完成いたしました。
道南バスのアカシア団地前で下車し、この道路を利用しますと体育館まで五分程度でくることが出来ます。
特に冬は、家庭にこもりがちなのが、つづき、運動不足になりやすい季節です。
体育館を利用して、こころよい汗を流し、冬の運動不足を解消して、体力の増進をはかってください。

消費者ダイヤル市

5局2111内線216
おかけします（売り）
シングルベッド、マイティ
1チャイ（小学六年・中学一
年教材、中学二・三年用教材
及び機械）、うは車、ペビー
バス、ドラム（楽器）、リヤ
カー、電子レンジ、ブレイヤ
し、アンブ及びチニーナ、
室内用石油タンク（十八号）、
石油ストーブ、ストーブ用金
あみ、あみ機、スキー靴（二
十六cm）

ゆすってください（買い）
長い兼用ベッド、ペビー
ベッド、ミシン、歩行器、エ
レクター、子供用自転車
（五・六歳用）テレビ（十二
・十四寸）、冷蔵庫（二ド
ア）、もちつき機（二升用）
こたつ、フィギュアスケート
（二十cm・二十三cm）

市民便帳の訂正

昨年、全家庭に配布しました市民便帳の二十三頁中、住宅貸付金の中で「住宅金融公庫から融資を受けて……」とあるのは、「住宅金融公庫では、住宅を建てる方に、住宅資金の一部をお貸ししています。」の誤りでした。お詫びして訂正します。

おしらせ

三税申告相談

三税(所得税、事業税、市・道民税)の申告相談日程は次のとおりです。どうぞご利用ください。

申告が必要な方は、昭和五十二年一月一日現在、登別市に住んでいて、次に該当される方です。

- 給与所得者で、給与所得のほか、所得のある方(地代、家賃、農業など)
- 給与所得者であっても、勤務先から給与支払報告書の提出がなかった方、または、昨年中に会社を退職した方。
- 申告には、次のようなものが必要ですのでご持参ください。
- 申告書と印鑑(必ず持参してください)
- 給与所得者は、源泉徴収票、ま

月日	時間	場所	相談する税
2月17、18日	10:00~16:00	高瀬寿の家	市道民税(農業)
2月21、22日	10:00~16:00	中央公民館	市道民税(農業)
2月23、24日	10:00~16:00	鷺別公民館	市道民税
2月25日	10:00~16:00	登別支所	〃
2月28日	10:00~16:00	ひまわり園	〃
3月1、2日	9:30~16:00	商工会館	所得税、市道民税(事業税)
3月3日	10:00~16:00	登別温泉支所	市道民税
3月4日	10:00~16:00	中央公民館	〃
3月9、10日	9:30~16:00	鷺別公民館	所得税、市道民税(事業税)

たは雇用主の証明書
 ○ 営業所得者や不動産、配当所得者は、その収支を証する資料
 ○ 社会保険料や生命保険料のある人は、その領収書または証明書
 ○ 医療費のある人は、その領収書
 ○ 災害や盗難などのあった方は、消防署または警察署の証明書

無担保、無保証人 低利の融資制度を ご利用ください

商工会議所の推せんで、無担保無保証人、低利の「小企業経営改善資金融資制度」が利用できます。推せんを受けるためには、

- ・ 以前から会議所の経営指導を六カ月以上受けていること。
- ・ 最近一年以上、登別市内で事業を行っていること。
- ・ 所得税、法人税または、市・道民税を完納していること。

▽ 融資対象
 商業、サービス業は従業員五人以下、製造業その他は従業員五人以下(いずれも、事業主と家族従業員および法人の役員は除く)。

- ▽ 貸付金額
 運転資金 百五十万円以内
 設備資金 二百万円以内
 (但し、運転・設備の合計で限度額二百万円です)
- ▽ 貸付期間
 運転資金 二年以内
 設備資金 三年以内(但しすえ置き六カ月以内)
- ▽ 利率
 年七・〇割
- ▽ 貸付条件
 無担保、無保証人
- ▽ 受付期間
 受け付けは、いつでも行っています

予防接種

● 接種上の注意
 ・ 母子健康手帳を持参してください。
 ・ 体温を計ってきてください。
 ※次に該当する人は、予防接種を受けられません。
 ・ 発熱している人または、著しい栄養障害者。
 ・ 心臓、じん臓、肝臓の病気にかかっている人。

◎ 対象児
 ・ 三種混合 第1期…生後24月から36カ月未満
 第2期…生後36月から48カ月未満
 ・ ツ反・BCG 生後3カ月~48カ月未満の未接種者
 ・ ジフテリア 昭和51年4月1日から昭和52年3月31日までの間に満12歳になった方または、なられる方で、小学校において接種できなかった方。

※ジフテリアは、今までの三種混合(または、二種混合・ジフテリア)の予防接種を1回も受けていない方は、接種できません。

実施場所	時間	予 防 接 種 名			
		三種混合	ツ反	BCG	ジフテリア
中央公民館	1:00~	2月10日		2月10日	3月3日
		3月3日			
商工会館	1:30~	2月17日	2月18日	2月3日	

健康相談

◎ 実施日・場所
 2月10日 中央公民館
 2月14日 鷺別公民館
 2月24日 中央公民館
 2月28日 登民会館

◎ 受付時間
 午前の部 10時~10時30分
 午後の部 13時~13時30分

◎ 内容
 午前…成人病相談、妊婦相談、家族計画相談、幼児相談(1歳以上)
 午後…赤ちゃん相談(6カ月児・9カ月児)、その他相談のある乳児(1歳未満)

赤ちゃん検診

◎ 内容 診察、計測、栄養指導、育児指導
 ◎ 用意するもの 母子健康手帳、換えオムツ、バスタオル

実施日	受付時間	実施場所	対象地区	対象児
2月16日	12:00~12:30	労働福祉センター	鷺別地区	昭和51年11月生
2月18日	〃	鷺別公民館	鷺別地区	〃

※ 登別・登別温泉地区は3月に実施します(11月12月生対象)

△ 対象者
 昭和四十五年四月二日(昭和四十六年四月一日)生まで
 ※お問い合せは学校教育係へ
 対象児童のいる家庭には、すでに通知していますが、通知書の届いていない方または、その後

この母親学級は、妊娠の生理、分娩の経過、妊娠中の栄養、新生児の母親学級を次に開催します。

△ 対象者
 昭和四十五年四月二日(昭和四十六年四月一日)生まで
 ※お問い合せは学校教育係へ
 対象児童のいる家庭には、すでに通知していますが、通知書の届いていない方または、その後

昭和52年度 新入学児童健康診断日定表

実施月日	入学予定学校名	受診場所	受付時間
2月4日	登別温泉小学校	カルルス温泉小学校 登別温泉公民館	14時00分~14時15分まで
	鷺別小学校	鷺別東小学校 中央公民館	13時00分~14時00分まで
2月9日	鷺別西小学校	青葉小学校	14時00分まで
	鷺別小学校	富岸小学校 鷺別公民館	13時30分~14時00分まで
2月10日	若草小学校		14時00分まで
	登別小学校	札内小学校 登民会館	13時30分~14時00分まで

〈母親学級日程〉

回	第1回目	第2回目
月日	3月2日	3月8日
会場	中央公民館	商工会館
時間	13:00	13:00
担当	婦人科医 広瀬先生	小児科医 深瀬先生
内容	○ 妊娠中の生理と分娩経過 ○ 映画 ○ 妊娠中の保健	○ 新生児の生理・児の発育 ○ 育児の考え方 ○ 分娩の準備 ○ 子供の育て方
回	第3回目	第4回目
月日	3月17日	3月25日
会場	商工会館	中央公民館
時間	13:00	10:00 13:00
担当	歯科医 宮武先生	双葉助産所 三木助産婦
内容	○ 妊娠中の歯の衛生 ○ 歯に関する知識 ○ 妊娠中の栄養 ○ 食事のとり方	○ 赤ちゃんのおふろ ○ 妊産婦体操 ○ 産後の生活と家族計画

児の育児、産後の生活と赤ちゃんのオフロの入れ方など、内容を四回にわけて講話実習し、妊娠にもなる不安の解消、出産にむけての心身、物品の準備のお手伝いをします。

◎ 受講希望者は、定員(百名)になり次第締切りますので、早めに申込みください。

◎ 受講申込み先
 市保健衛生課(電話5局2111内線244)

◎ 受付人員
 百名(定員になり次第締切)